《研究課題名》
未熟児網膜症の新たなリスクファクターの解明

《研究対象者》
2003 年 1 月から 2022 年 10 月の間に周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された方

研究協力のお願い
　滋賀医科大学において周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された情報を用いて、上記研究課題名の研究を行います。こ研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
　なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について
《研究課題名》
未熟児網膜症の新たなリスクファクターの解明

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2029 年 3 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　眼科学講座　小幡峻平

（２）研究の意義、目的について
《意義》
未熟児網膜症の新たなリスクファクターを発見することにより、未熟児網膜症のより正確な治療予測モデルを構築することができる可能性があります。それによって、治療が不要なお子様の眼科診察を減らし、治療の可能性が高いお子様に対して的確なインフォームドコンセントが出来るようなるといった、日常臨床に直結した貢献ができることを期待します。

《目的》
データベースを用いて新たな未熟児網膜症治療のリスクファクターの発見をめざし、より精度の高い未熟児網膜症の治療予測モデルを構築すること

（３）研究の方法について
《研究の内容》
周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された母体因子と児の因子と未熟児網膜症治療との関連を検討します。
その関連する因子を用いて、未熟児網膜症治療予測モデルを作成します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

お子さんの性別、出生体重、出生週数、疾患などの身体情報、お母様の生活背景や分娩状況などを周産期母子医療センターネットワークデータベースを用いて調べます。

《情報の管理について責任を有する者》

眼科学講座　小幡峻平

（4）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、周産期母子医療センターネットワークデータベースは既にあなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）が除かれた状態で提供され、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態で研究を行います。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（5）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（6）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（7）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（8）にご連絡ください。

（8）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　眼科学講座　小幡峻平
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2276
メールアドレス：hqophth @belle.shiga-med.ac.jp